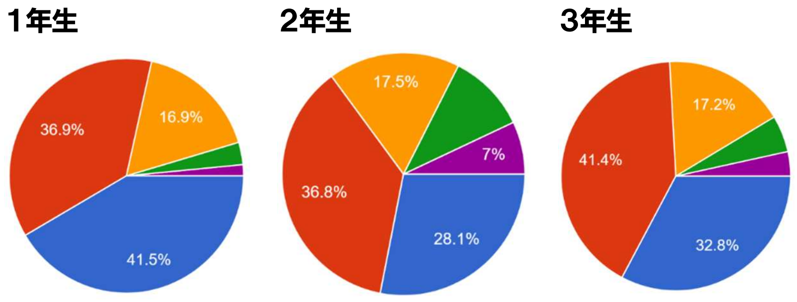
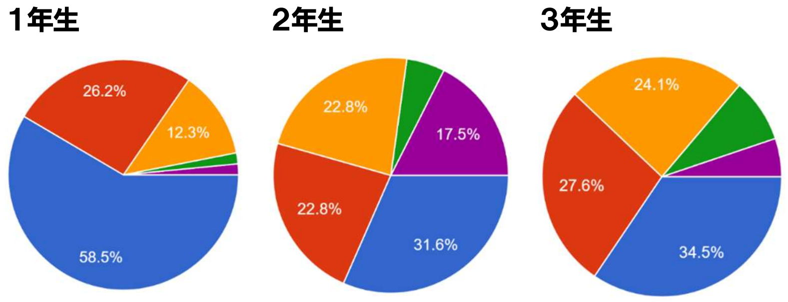
テストアンケート結果から

●肯定　●弱い肯定　●どちらでもない　●弱い否定　●否定

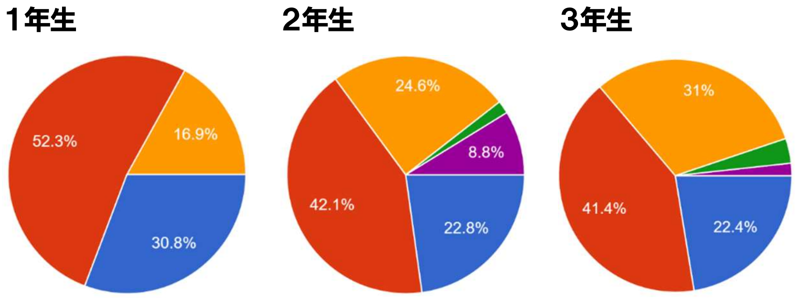
① 単元テストに変わったことで（単元テストに向けて（1年））、計画的に日々の家庭学習に取り組むようになったと思う。



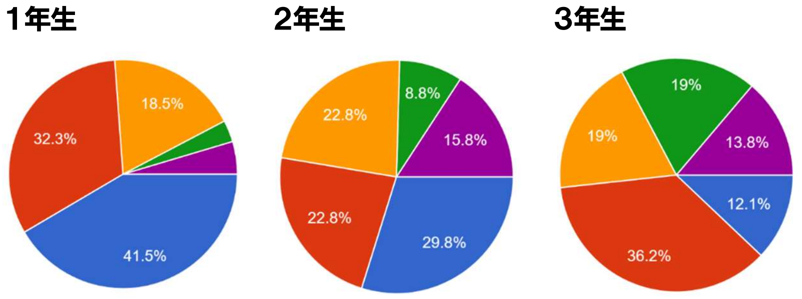
② 単元テストに変わったことで（単元テストに向けて（1年））、テスト勉強にかける合計時間が増えたと思う。



③ 単元テストに変わったことで（単元テストの勉強によって（1年））、学習の内容が定着するようになったと思う。



④ 範囲の広い定期テストを年間4回行うよりも、範囲のせまい単元テストを年間8回行う方が負担が少ないと思う。



「単元テスト」について、上記の内容で生徒にアンケートを行い、テスト実施についての評価を行いました。単元テストの実施により「計画的な家庭学習」や「家庭での学習時間」という面から肯定的な意見が多いことが分かります。また「内容の定着」といった面からも生徒の実感として肯定的な結果が得られました。アンケートの自由記述では「次のテストまでの期間が短く大変だった」といった意見が多く寄せられましたが、「授業と家庭学習と習得評価」という面から考えれば当然の悩みだと考えています。また、学習に対する前向きな意見として「自分の本当の実力が出ているのか分からない」という意見もありました。これについては、１月に行った実力テストで確認することが出来ると考えています。

来年度も同様に年８回の単元テストを実施し、「授業と評価の一体化」と「生徒の主体的で計画的な学習」を目指してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

頸城

令和６年１月１６日

上越市立頸城中学校
〒942-0164　頸城区潟口 60
TEL 530-2405　FAX 530-2014
学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

頸城中ＨＰにアクセス！

３学期は「始まりの学期」～始業式の話から～　校長 小池 修

２０２４年、令和６年が始まりました。新年早々に災害が重なり、ここにこうして皆さんと顔を合わせることができて、ホッと胸をなで下ろしているところです。

１月１日に能登半島地震が起こり、経験したことのない大きな揺れに危険を感じて、近くの避難所に避難した人もいると思います。１週間たった今でも、お亡くなりになった方、安否が分からない方あわせて３００人以上、避難している方も約２万９千人おり、余震が続く中で命が危険にさらされています。そのような中で、道路や電気、ガス、水道が寸断されて孤立した集落の人たちが、それぞれの自宅から食料や水を持ち寄り、炊き出しをしてみんなで支え合いながら救助を待つ様子が報道されています。ライフラインが十分でない中で今を過ごしている方々のことを思うと胸が張り裂けるような思いがします。ぜひ、私たちにできる支援を見付けて行動しましょう。

続く１月２日には、羽田空港で航空機同士が衝突して爆発炎上するという大きな事故が発生しました。テレビに映る現場の様子は、まるで映画の中の出来事のようでにわかには信じがたい光景でした。そのような中、民間航空機の乗客と乗員３７９人が１８分間で全員脱出できたことが、海外のメディアで「奇跡だ」と報道されました。客室乗務員が乗客の命を最優先し、荷物をもたずに避難するよう指示しました。乗客もすぐそこに火の手が迫っている中でパニックにならず、わがままを通さず、指示に従って迅速に行動したことで全員の命が助かりました。

この立て続けに起きた２つの災害を生き抜いた人々の姿から私たちが学べることは何でしょうか。私は、いざというときに、そこにいる人々の協力や結束が不可欠であるということだと思います。そして、そのような時にこそ、指示やきまりに従い冷静に行動することが求められるということです。

翻って考えてみると、私たちは、一人一人が役割を担い、協力して学校生活をつくっています。また、行事などを通してみんなの力を結束する経験を重ねています。さらに、リーダーやフォロワーそれぞれの立場でよりよい学校生活をつくるために考え、提案してみんなで決めたことをみんなで守っています。このように、学校で皆さんが当たり前のことをきちんと行っていること「凡事徹底」が、いざというときに皆さんの命と安全を守ることにつながるのです。どうか、３学期もお互いの力を信じ、認め合って安心・安全な学校生活をつくっていっていただきたいと思います。

また、この３学期は非常に短い学期ですが、４月にスタートダッシュを決める大切な３か月になります。私はいつも「３学期は始まりの学期」とお話ししています。１年生は先輩となる準備を、２年生は新しい学校のリーダーとなる決意を、そして３年生は義務教育を終えて自立するための覚悟を、それぞれ固めるために１日１日を大切に過ごしてください。

地震のあったあの日、先生方は皆さん一人一人の家に連絡を取りました。時間はかかりましたが、どうしても連絡が取れなかった家以外の全員の安全を確認できました。そして、全員で校内の危険箇所を点検して、皆さんが安全に学校生活を送ることができるように整えました。改めて、皆さんの命が無事であったこと、そして生徒の安全を優先してくださった先生方に感謝します。今後、学校にいるときにあのような地震が起こるかもしれません。そのときは、皆さんで協力して全員の命を守り抜きましょう。

学校評価（後期）の結果から

		（全校）生徒アンケート	R5 前期（%） はっきりハイ	だいたいハイ	だいたいイイエ	はっきりイイエ	肯定	否定	R5 後期（%） はっきりハイ	だいたいハイ	だいたいイイエ	はっきりイイエ	肯定	否定
1	学力づくり	「なりたい自分」を具体的にイメージしている。	25.1	62.0	12.8	0.0	87.1	12.8	26.3	57.9	13.5	2.3	84.2	15.8
2		基礎学力の向上・定着に努力している。	27.4	60.3	12.3	0.0	87.7	12.3	30.4	56.7	10.5	2.3	87.1	12.8
3		１日あたりのめやす時間(1年生70分、2年生80分、3年生90分)の家庭学習を行っている。	8.4	39.7	52.0	0.0	48.1	52.0	17.5	40.9	26.9	14.6	58.4	41.5
4		ペア活動や話合い活動に自分の考えをもち、参加している。	55.3	38.0	6.7	0.0	93.3	6.7	53.8	38.6	4.7	2.9	92.4	7.6
5	絆づくり	いじめ・差別・偏見をしない、見逃さない、許さない努力をしている。	68.2	27.4	4.5	0.0	95.6	4.5	73.1	25.7	1.2	0.0	98.8	1.2
6		自分や他の人を大切にして、温かな人間関係を作っている。	67.6	31.3	1.1	0.0	98.9	1.1	67.3	32.2	0.0	0.6	99.5	0.6
7		地域や校内でさわやかなあいさつを進んで行っている。	52.0	43.0	5.0	0.0	95.0	5.0	50.3	42.1	5.8	1.8	92.4	7.6
8		さまざまな仲間と活動したり、言葉をかけあったりしている。	60.3	36.3	3.4	0.0	96.6	3.4	57.9	39.8	1.2	1.2	97.7	2.4
9		係や当番の仕事をしっかり行い、仲間の役に立っている。	59.2	38.5	2.2	0.0	97.7	2.2	60.8	36.8	1.8	0.6	97.6	2.4
10		地域の行事や校内外のボランティア活動に参加し、地域や学校に貢献している。（または、今後してく）	29.1	40.8	30.2	0.0	69.9	30.2	22.8	48.0	19.3	9.9	70.8	29.2
11	体づくり	「早寝・早起き・朝ご飯」を実行している。	41.3	43.0	15.6	0.0	84.3	15.6	39.2	43.3	14.0	3.5	82.5	17.5
12		十分な睡眠時間を確保している。	43.0	44.1	12.8	0.0	87.1	12.8	40.4	45.6	12.3	1.8	86.0	14.1
13		保健体育の授業等（部活動も含んでもよい）で自分から体力向上に取り組んでいる。	62.0	30.2	7.8	0.0	92.2	7.8	59.1	32.7	7.0	1.2	91.8	8.2
14		夜10時30分には、すべてのメディアをシャットダウンしている。	30.7	31.8	37.4	0.0	62.5	37.4	29.8	26.3	23.4	20.5	56.1	43.9
15		夜11時までに就寝している。	40.2	33.0	26.8	0.0	73.2	26.8	33.3	33.3	22.2	11.1	66.6	33.3

		（全校）保護者アンケート	R5 前期（%） はっきりハイ	だいたいハイ	だいたいイイエ	はっきりイイエ	肯定	否定	R5 後期（%） はっきりハイ	だいたいハイ	だいたいイイエ	はっきりイイエ	肯定	否定
1	学力づくり	家庭学習の習慣化に向け、決まった時間に家庭学習ができるよう、学習の環境を整えている。	13.2	57.9	23.7	5.3	71.1	29.0	14.7	57.1	19.9	8.3	71.8	28.2
2		テスト前や長期休業中は学習計画表を点検したり、テスト結果を親子で振り返ったりしている。	12.5	59.9	21.7	5.9	72.4	27.6	8.3	61.5	23.1	7.1	69.8	30.2
3		進路について親子で話し合い、学習に目標をもたせるようにしている。	15.1	57.2	22.4	5.3	72.3	27.7	22.4	51.3	23.1	3.2	73.7	26.3
4	絆づくり	いじめ・差別・偏見を家庭で話題にし、しない・許さない意識を高めている。	39.5	56.6	3.3	0.7	96.1	4.0	43.6	51.9	1.9	2.6	95.5	4.5
5		自分や他の人を大切にして、温かな人間関係を作るよう働きかけている。	39.5	59.2	0.7	0.7	98.7	1.4	50.0	47.4	1.9	0.6	97.4	2.5
6		大人から積極的にあいさつや声がけをしている。	53.3	42.8	3.3	0.7	96.1	4.0	50.0	45.5	3.8	0.6	95.5	4.4
7		地域の行事や校内外のボランティア活動に参加を促してる。（または、今後促していく）	15.1	57.9	23.0	3.9	73.0	26.9	11.5	55.8	28.2	4.5	67.3	32.7
8	体づくり	親子で話し合ってメディア使用のルールを決め、それを守らせている。	13.2	55.3	23.0	8.6	68.5	31.6	14.1	44.9	33.3	7.7	59.0	41.0
9		「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣付けている。	27.6	53.9	14.5	3.9	81.5	18.4	28.8	55.8	11.5	3.8	84.6	15.3
10		22時30分にはすべてのメディアのシャットダウンに向け、家族ぐるみで取り組んでいる。	30.3	39.5	24.3	5.9	69.8	30.2	20.5	43.6	28.2	7.7	64.1	35.9

保護者の皆様からは、12月のお忙しい中、アンケートに回答いただきありがとうございました。生徒・保護者アンケートの結果は、左のようになりました。

家庭学習について「めやす時間」を達成できている生徒の割合が増えています。関連して、保護者の皆様が親子で話し合いをされ「学習に対する目標」をもたせていることが、成果として表れているようです。

２学期末に行われた「いじめ見逃しゼロスクール集会」の成果が、生徒のアンケート結果に表れています。引き続き「いじめを許さない学校」にむけて、生徒の指導にあたっていきます。

生活習慣とメディアへの対応という点について、課題が残る結果となりました。１年生は２学期に「メディアとの付き合い方」について外部講師を招いて、学習をすすめました。また、３学期はじめに「生活コントロールチャレンジ週間」がスタートしました。このように、学校でも啓発に努めてまいります。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

いじめ見逃しゼロスクール集会（11 月 16 日）

区内の小学校６年生と中学生が、「いじめ見逃しゼロ」の活動を通して交流することで、いじめをしない、許さないという強い思いをもつというねらいのもと、集会がもたれました。

生徒会では「頸城」「絆」「向上」の意味を込めて K3 集会と呼んでいます。この集会では、区内の小学校６年生と中学生が一堂に会して、第１部「仲間との絆を深めてきた各校の取組紹介」と第２部「小中学生の交流活動」が行われました。生徒会が主軸となって会を運営し、小学生との触れ合いを通して、先輩としての自覚を高める機会にもなりました。

生徒会役員選挙（12 月 13日）

新生徒会リーダーを選出するための活動が、10月中旬から本格的に始まりました。今年度生徒会三役を務めてきた生徒から後輩に向けて『頸城中の目指す姿』について話があり、どの後各学級で新たな頸城中を考える機会がもたれました。今年度の生徒会活動を振り返り、「リーダー」、「来年度の頸城中」などをテーマに話し合いました。12 月 13 日（水）の立会演説会では、各候補者が頸城中学校の現在を見つめ直し、来年度はどんな学校にしたいかという明確な願いをもって、具体的な活動提案を行っていました。どの候補者に頸城中学校の生徒会を任せても安心できるほど、とても立派な姿でした。

生徒会長　加藤ひかりさん
男子副会長　五十嵐聡叡さん
女子副会長　角張　那帆さん

以上の 3 名が次期生徒会のリーダーとして選出されました。

3 名が役員として選出されましたが、他の立候補者もリーダーとしての活躍が期待されます。また、頸城中学校の「これからを担う」という意味では、生徒全員が生徒会の会員です。これからの頸城中学校の活動にもご期待ください。

C3大会（12 月 20 日5・6限）

「ｃｌａｓｓ」「ｃｈａｌｌｅｎｇｅ」「ｃｈａｍｐｉｏｎｓｈｉｐ」の３つの意味を込め、生徒会主催でレクリエーション大会を行いました。体育館、武道場、多目的室を会場に、ドッヂボール、バレーボール、バドミントン、トランプで競い合いました。

生徒会総務委員の「全校生徒が楽しめる行事にしたい」という考えもあり、全生徒が参加できるよう種目決めから運営まで、短い準備期間の中一生懸命取り組んでいました。途中には、ハーフタイムショー（ダンス発表、歌謡ショー）もあり、楽しみながら全校生徒が一つになるよい機会となりました。